

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

全問マーク式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

読解総合問題3題, 文法・語法問題, 整序英作文問題, 会話問題と総合的な英語力を問う出題となっている。読解総合問題では, 空所補充問題, パラフレーズ問題, 内容一致問題, 英問英答選択問題が出題されている。概ね昨年の問題形式が踏襲されていた。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合 (685語)	「高齢者とのコミュニケーションで大事なこと」	設問はいわゆる文脈型のものが中心で, 受験生の多くが時間のかかる設問となっている。Aの空所補充問題は文脈を考慮して解かせるもの。Bのパラフレーズ問題も文脈を考慮して解かせるもの。Cの長めのパラフレーズ問題も下線部の解釈だけでなく文脈をヒントにする。Dの内容一致問題では, 紛らわしい選択肢はない。	標準
[II]	読解総合 (408語)	「ナチス式敬礼を拒んだ男」	Aのパラフレーズ問題では, 知識で解けるものもあるが, 文脈を考慮するものも見られる。Bのパラフレーズ問題は, すべて文脈を考慮する問題となっている。Cの英問英答式内容一致問題は, しばしば内容不一致問題が出題されることに注意。	標準
[III]	読解総合 (313語)	「農業生産と気候変動」	Aの空所補充問題は, 文脈と文法・語法・語いの知識との両面から選択肢を吟味する姿勢が必要。Bの内容一致問題は, 特に紛らわしいものはない。	標準
[IV]	文法・語法	短文空所補充	標準的な文法・語法・イディオムの知識が問われている。	標準
[V]	英作文	整序英作文	標準的な文法・語法・構文の知識が問われている。	標準
[VI]	その他 (252語)	会話問題	会話の文脈把握に加えて, 口語表現, 文法・語法の知識が問われている。	標準

注: 区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

読解総合問題では、まず語い力の増強に努めたい。語い力が身についたら、ある程度の速さで正確に読む練習を積んでおきたい。そのためには文と文の論理関係に注意して読む習慣を身につけてほしい。文法・語法の知識も不可欠である。どの文法単元も、品詞や成り立ちを意識しつつ正しく理解した上で、暗記すべきものは暗記するという姿勢で取り組むこと。会話問題は、文脈把握と文法・語法の知識を問う問題が中心とはいえ、最低限の頻出口語表現は知っておこう。整序英作文の対策としては、頻出の構文を暗記することが近道である。文法の学習の際に基本例文を暗唱していくのがよい。